

図書館通信

6月号 宇東図書館委員会

梅雨の季節、まだまだ雨が続きます。そんな日には、本を一冊手にとってゆったりとした一日を過ごしませんか。

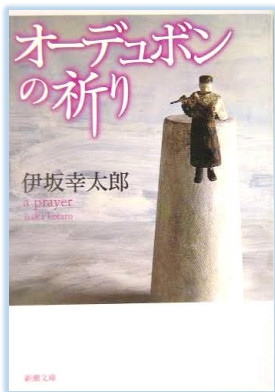
今月はどんより重い空気を吹き飛ばす、わくわく感、爽快感を味わえる「ミステリー」を紹介します。



『疾風ロンド』 東野 圭吾 著

ある雪山に隠された生物兵器。気温が上昇し、雪が溶ければ近隣には甚大な被害が及ぶ。隠し場所を知りたければ三億円をよこせ——。そう脅迫してきた犯人は事故死してしまった。

唯一残されたのはヒントとなるテディベアに取り付けられた発信器だけ。回収に向かった研究員たちに待ち受ける運命とは。



『オーデュボンの祈り』 伊坂 幸太郎 著

コンビニ強盗に失敗し逃走していた伊藤は、気が付くと見知らぬ島にいた。江戸時代以来、外界から遮断されている“荻島”。荻島で出会った日比野に島を案内してもらおう途中、日比野に紹介されたのは未来を見通せる喋るカカシだった。

カカシは荻島の未来について何か知っているようだった。しかし、カカシは次の日殺されてしまった。未来を見通せるはずのカカシは、なぜ自分が殺されるのを防げなかったのか……。

科学のミステリーに迫ろう！

『世界一素朴な質問、宇宙一美しい答え』

ジョンマ・エルウィン・ハリス 編

『世界一ときめく質問、宇宙一やさしい答え』 西田 美緒子 訳

この本の中にはとてつもなく難しく、考えもつかないような問題はありません。けれども、確実に知識の隙間を埋めてくれるような本です。どんな無邪気な質問にも各分野の第一人者がやさしく知識を与えてくれます。きっと皆さんにもわくわくする問いが見つかるはずです。

『ピーカーくんとそのなかまたち』 うえたに夫婦 著

化学の授業で使っている実験器具。皆さんは、その実験器具についてどれだけのことを知っていますか。正式名称、マニアック度、壊れやすさ、得意技、使ってない時置き場所に困る度、など。あなたの知らない実験器具たちの知られざる姿を見ることができます。分かりやすい漫画で書かれているので、ぜひ、手に取って読んでみてください。

原子って何？
血はどうして赤いの？
素朴な疑問がここに！



ろ紙の真ん丸度って何？
ピーカーくん主張って？！